



Environmental  
Management  
Report

# 環境経営レポート



2022年度[第33期]

対象期間:2021年12月1日~2022年11月30日

株式会社 エコ・クリエイト

作成日:2023年2月1日

改定日:2023年3月1日

## 《事業内容》

- 1.産業廃棄物の収集、運搬、積替え保管、処理及び再生業
- 2.環境保全及び環境改善に関する調査、分析及びコンサルタント業務
- 3.各種の地質調査、土地調査、地下水調査並びにそれらの関連業務
- 4.ビルメンテナンス業及びビルの管理業務に関するコンサルタント業務
- 5.医療用具、医療用機器の販売、賃貸及びメンテナンス業

## 株式会社 エコ・クリエイト

住所：岡山県岡山市北区今二丁目 19 番 10 号

TEL：086-246-5090 FAX：086-246-5091

URL：<http://ecocreateinc.jp/>

### 《沿革》

平成元年 12 月 18 日、医療廃棄物収集運搬業務を目的として、有限会社エコ・クリエイトを設立。

平成 2 年 1 月、岡山県と岡山市より産業廃棄物収集運搬業許可を取得。

平成 5 年 6 月、岡山県より特別管理産業廃棄物収集運搬業許可を取得。

以降令和 3 年 7 月迄に 6 自治体より普通産廃収集運搬業と特管産廃(PCB 廃棄物収集運搬を含む。)収集運搬業の 12 の許可を受けた。

平成 5 年 8 月、坪江信一 代表取締役に就任。

平成 16 年 1 月、岡山市北長瀬本町 8 番 36 号より、岡山市米倉 66 番地 2 へ移転。

平成 19 年 12 月、坪江紀幸 代表取締役に就任。同年同月、岡山市米倉 66 番地 2 から岡山市上道北方 452 番地へ移転。

平成 30 年 4 月、岡山市北区今二丁目 19 番 10 号に本社移転。有限会社を株式会社に改組、株式会社エコ・クリエイトに商号を変更する。

令和 3 年 9 月、既に取得していた隣接農地の造成工事完成。

令和 4 年 2 月、岡山東事業所の増築工事完成。

現在に至る。

### 『未来の地球環境を創造する』

これが我が社の理念であります。

美しい自然があることで、人の心は豊かになります。人の心が豊かになれば、必ずそこには幸せが訪れます。幸せになれる環境を少しでもお手伝いし、お役に立ちたい。廃棄物から新しい価値を生むエネルギー事業に携わり、地球環境の役に立ちたいと考えています。

認証・登録番号	0011317
認証・登録事業者	株式会社 エコ・クリエイト
	岡山県岡山市北区今二丁目 19 番 10 号
事業活動	産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業
対象事業所	本社、岡山東事業所
認証・登録日	2016年6月27日
更新・登録日	2022年6月26日
有効期限	2024年6月26日

## 環境経営方針

### 【環境経営理念】

わたしたちエコ・クリエイトは  
誠実で透明な環境経営で、お客様と社会の信頼に応えます。  
社会が必要とする質の高い環境関連事業を実行することで、自然環境を守り  
生活環境を守り、環境経営を継続的に発展させます。

### 【環境保全への行動指針】

1. 環境経営理念を意識し、会社も社員も成長していきます。【環境方針の周知】
2. 廃棄物関係及び環境関連の法令を遵守し、お客様が安心して任せられる仕事をします。【廃棄物の適正管理】
3. 整理、整頓、清掃を習慣化し、エネルギーや資源を大切に使い、環境への負荷低減に努めます。【省エネ、省資源】
4. 地域での環境関連活動へ積極的に参加します。【社会貢献活動】
5. 本環境経営方針を維持し、継続・発展させるため、環境経営目標を設定し、社員全員で学習(PDCA)しながら活動し続けます。【遵守の約束】
6. 社員が健康を維持できる業務体制を構築し、適宜見直しを行います。

### 【働き方改革】

7. 会社全体に必要な資格を、希望する全員が獲得できるよう支援します。

### 【スキルアップの支援】

制定日：2015年12月01日

改定日：2023年02月28日

代表取締役社長 坪江 紀幸

# 組 織 の 概 要

## 名称及び代表者名

株式会社 エコ・クリエイト

代表取締役 坪江 紀幸

## 所在地

本 社 岡山県岡山市北区今二丁目 19 番 10 号

岡山東事業所 岡山県岡山市東区上道北方 452 番地

## 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 渉外部長 恩藤 光 TEL:090-3630-5090

担当者 総務部 安木 眞里 TEL:070-3772-5090

## 事業内容

産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬

## 事業の規模

法人設立 1988 年 12 月 18 日

資本金 300 万円

売上高 26,766 万円 (2021 年 12 月 1 日～2022 年 11 月 30 日)

従業員数 本社 2 名 岡山東事業所 10 名

延べ床面積 本社 24 m<sup>2</sup> 岡山東事業所 69.6 m<sup>2</sup>

敷地面積 2,426.0 m<sup>2</sup> (2022 年 11 月 30 日現在)

受託した産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬量 7,505.6 t

## 事業の用に供する車両

車 種	台 数	備 考
大型ウイング車	1 台	
冷蔵冷凍車	2 台	
キャブオーバ	2 台	ユニック車、パワーゲート車
バ ン	3 台	2t ロング、プロボックス、 軽トラック
計	8 台	

## 認証・登録の対象組織・活動 (全組織・全活動)

登録組織名：株式会社 エコ・クリエイト

対象事業所：本社

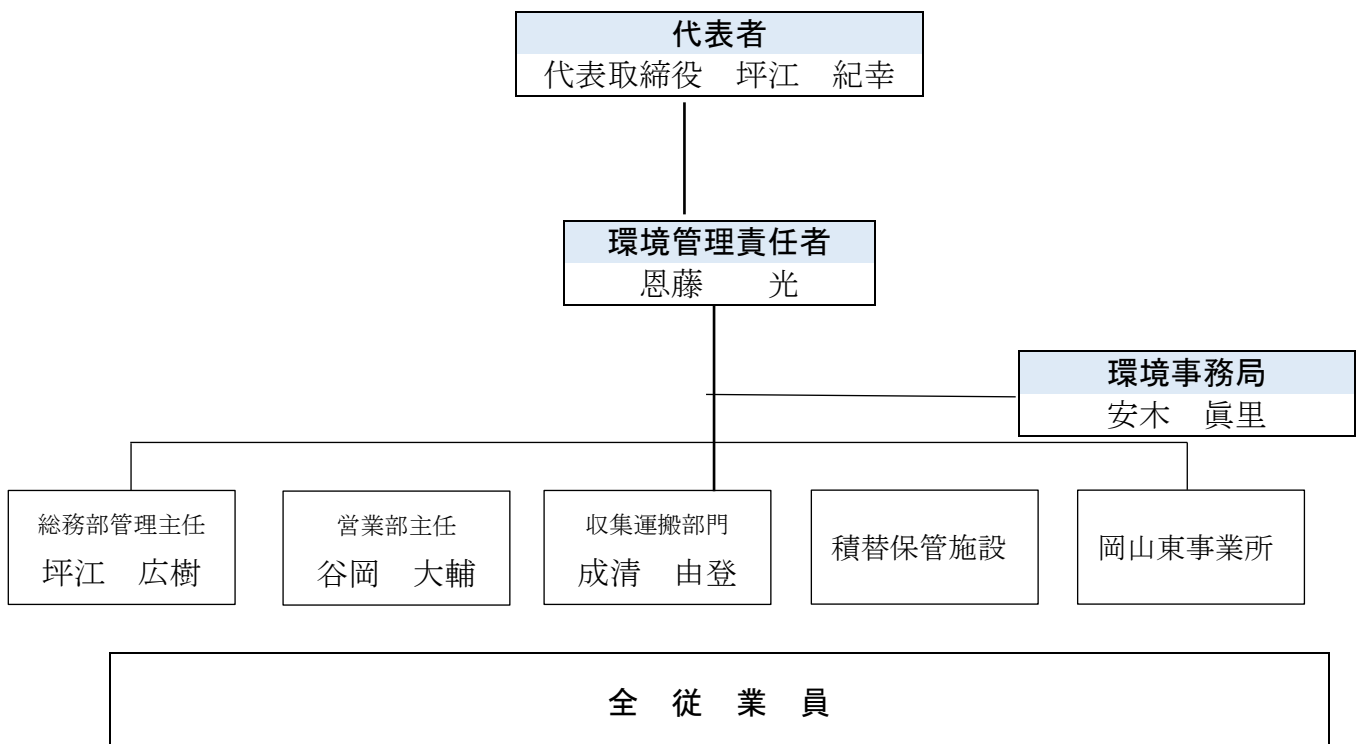
岡山東事業所

活動： 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬

## 事業の紹介

病院その他の医療機関から排出される「医療系産業廃棄物」と建設系産業廃棄物、低濃度PCB汚染物や研究機関からの強酸・強アルカリ・試薬・レントゲンフィルム等を収集運搬し、焼却や無害化処理を行う中間処理業者に処分委託をしております。

## 環境経営組織図及び役割・責任・権限表





広島県 03400004226	R3. 7. 8 R8. 7. 7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
兵庫県 02803004226	R1. 10. 28 R6. 10. 27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
島根県 03200004226	R3. 7. 29 R8. 7. 28	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	

特別管理産業廃棄物収集運搬業	許可期限	許可品目														
		許可地域 許可番号	許可年月日 許可期限	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性産廃	廃PCB等	PCB汚染物	PCB処理物	燃え殻	汚泥	ばいじん	廃石綿等		
岡山県 03351004226	H31. 2. 19 R5. 6. 17			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡山市 08360004226 (積替え保管有り)	H31. 4. 24 R5. 12. 25			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	
鳥取県 03154004226	H30. 7. 1 R5. 6. 30			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
広島県 03450004226	R3. 7. 8 R8. 7. 7			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	
兵庫県 02853004226	R1. 10. 28 R6. 10. 27			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	
島根県 03250004226	R3. 7. 29 R8. 7. 28			○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	

### 積替え保管施設の概要

産業廃棄物の積替え保管場所 : 228㎡ 積み上げる事が出来る高さ : 2m  
 特別管理産業廃棄物の積替え保管場所 : 75㎡ 積み上げる事が出来る高さ : 2m  
 特別管理産業廃棄物の  
 屋外積替え保管場所(燃え易い廃油) : 9㎡ 積み上げる事が出来る高さ : 1m

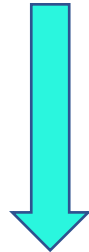
## 廃棄物処理フロー

### 排出事業者様

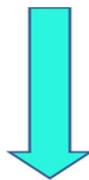
産業廃棄物

汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラ・木くず・金属くず・ガラ陶、等  
特別管理産業廃棄物

燃焼しやすい廃油・腐食性廃酸・腐食性廃アルカリ・感染性産業廃棄物・  
廃 PCB 等



収集運搬 株式会社 エコ・クリエイト  
積替え保管施設 (岡山市東区上道北方 452 番地)



中間処理・リサイクル業者  
三光株式会社  
株式会社インテックス 株式会社 南 備  
焼却・破碎・PCB 無害化处理



## 受託した産業廃棄物、特別管理産業廃棄物の処理量

### ・収集運搬量

廃棄物の種類					
産業廃棄物	単位	収集運搬量	特別管理産業廃棄物	単位	収集運搬量
汚泥	t	78.38	燃えやすい廃油	t	25.02
廃油	t	208.79	廃酸 (Ph2.0 以下)	t	7.83
廃酸	t	1.41	廃アルカリ (Ph12.5 以上)	t	1.06
廃アルカリ	t	0.30	感染性産業廃棄物	t	1,722.62
廃プラスチック類	t	2,513.34	廃PCB等	t	8.94
木くず	t	30.50	PCB汚染物	t	0.35
金属くず	t	0.07	PCB処理物	t	0
がれき類	t	56.57	ばいじん	t	0
ガラス陶磁器くず	t	227.12	有害廃油	t	0.01
混合廃棄物 (廃プラ+金属くず)	t	2606.30	廃石綿等	t	17.00
小計	t	5,722.78	小計	t	1,782.83
合計 (t)					7,505.61

## 主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sup>2</sup>	48,321	45,900	93,233
受託収集運搬量	トン	3,296	4,684	7,505.6
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	60	81	82
産業廃棄物排出量	kg	0	340	340
総排水量	m <sup>3</sup>	53	55	89

※電力の二酸化炭素排出係数  
中国電力の調整後排出係数 (H30年度実績) 0.636 kg-CO<sub>2</sub>/kWh を使用。

## 環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値	2022年度		評価	2023年度	2024年度
		(基準年)	(目標)	通期 (実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	5,129	4,975			4,924	4,873
	基準年度比	2020年	97%	119%	×	96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減 (ガソリン、軽油)	kg-CO2	43,112	41,819	86,677	×	41,388	40,957
	基準年度比	2020年	97%	201%		96%	95%
一般廃棄物の削減	kg	60	56	82	×	54	52
	基準年度比	2020年	93%	137%		90%	87%
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	53	49	89	×	48	47
	基準年度比	2020年	92%	168%	×	90%	88%
社会貢献活動	行動目標（数値目標なし） <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs17の目標の中で当社が実施可能な目標への取組</li> <li>・地域が実施する環境活動への積極的参加</li> <li>・周辺地域の清掃</li> </ul>						

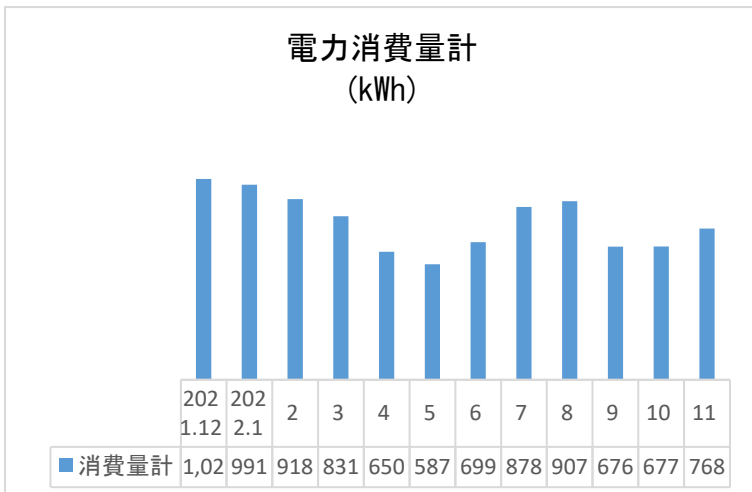
□ 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画



数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	6,107 kg-CO <sub>2</sub>	2020年より19%増。人が増え、売上高が増えた分電力消費も増えた。
・空調温度の適正化	○	空調温度には常に気を配っていた。
・不要照明の消灯	△	昼休みが一斉に取れない時、不要照明の消し忘れがあった
・ノー残業デーの実施	○	ノー残業デーを特に決めていないが、部門長が常に残業を極力せぬよう従業員の意識を啓発している。
・照明のLED化	◎	階段等一基を覗いて、全照明をLED化した。



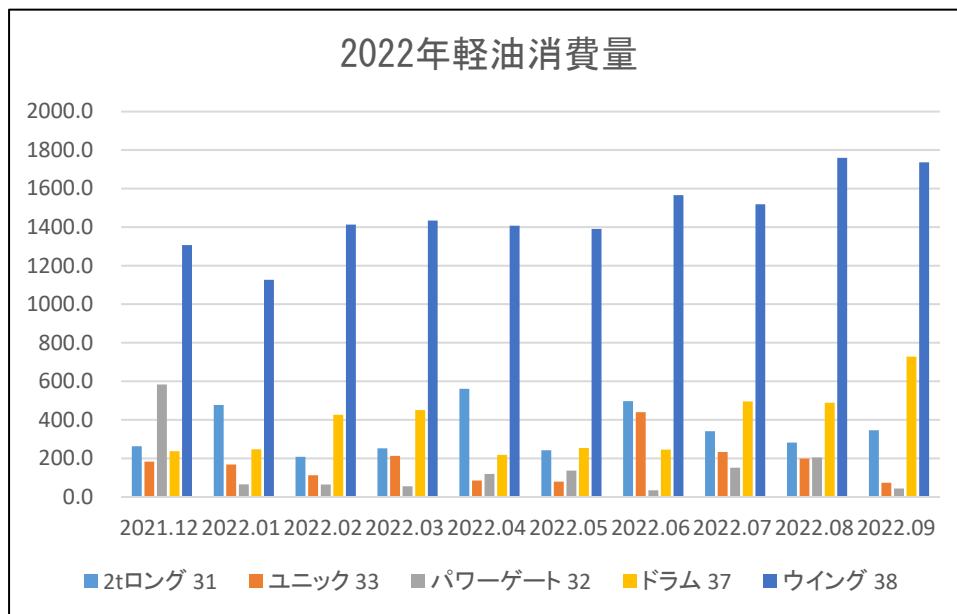
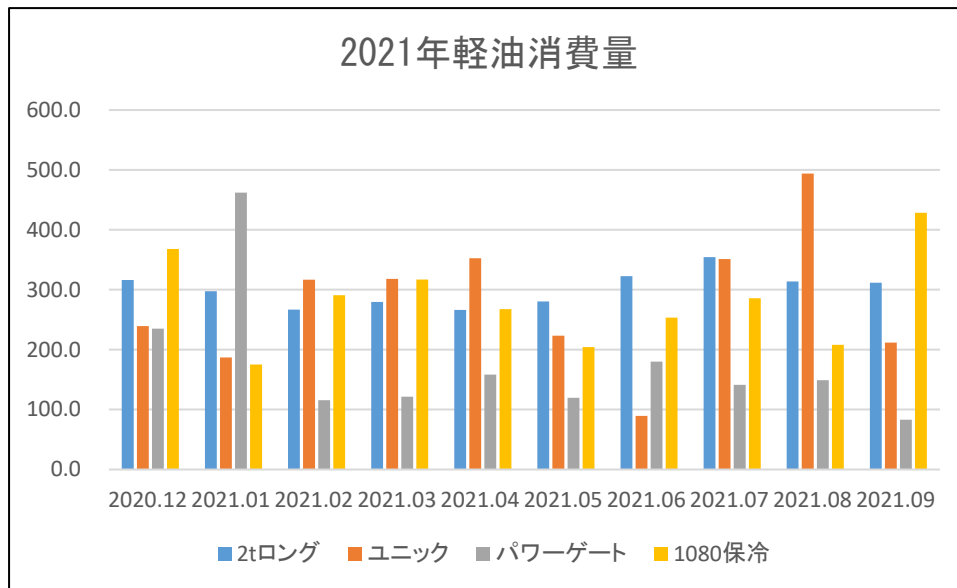
**次年度の取り組み内容**

冬季と夏季の電力消費が多いのは偏にエアコンの使用によるものである。暖房はファンヒーター、冷房はサーキュレーターを有効に使用して、エアコンの使用を極力抑え、昼休みの12:30から12:45分を消灯時間として、電力消費の低減を図る。

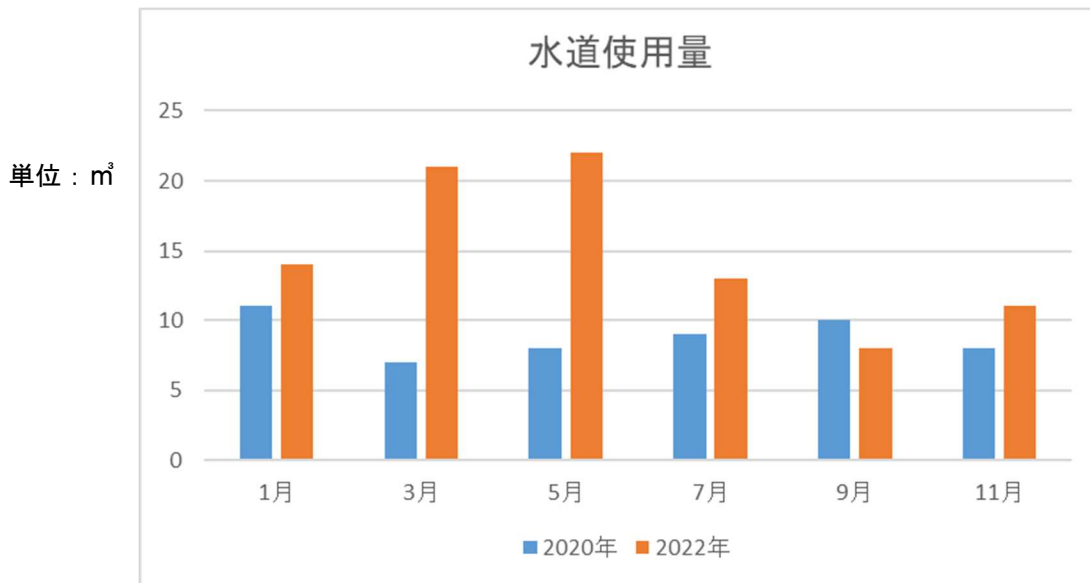
自動車燃料の使用量削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標(ガソリン) 393ℓ	1,401.9ℓ ×	軽トラにプロボックスが増えた分消費量が増えた。
数値目標(軽油) 4,876ℓ	32,335.2ℓ ×	新たに購入したウイング車がフル稼働し、大量の軽油を消費する為。(2022年輕油消費量のグラフ参照。)
・アイドリングストップ	◎	運転手各位は常に努力してくれている。
・効率的なルートで配送	◎	坪江主任も谷岡主任もルートの見直しは怠らない。
・エリア別営業活動の徹底	△	Eco事業部の集配を営業活動と兼務できないか?

**次年度の取り組み内容**

電気自動車や水素自動車実用化する迄、軽油やガソリンに頼らざるを得ない。エコドライブの励行にも、限度がある。人件費や燃料費の高騰をお客様にご理解頂いて、何とか黒字が維持できるよう運搬費の値上げをお願いして行く。

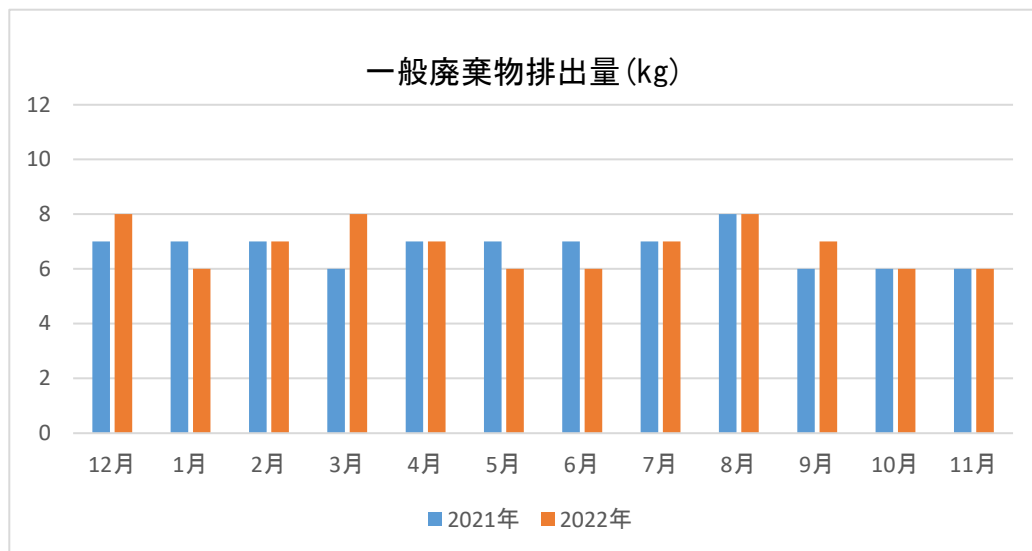


事業に供する車両の燃費	km/ℓ
ユニック	9.6
パワーゲート	11.8
2tロング	7.9
軽トラ	14.5
プロボックス	18.7
イヴォーク	8.5
ウイング車	7.2



	1月	3月	5月	7月	9月	11月
2020年	11	7	8	9	10	8
2022年	14	21	22	13	8	11

水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取り組み内容
節水シールの貼付とポスター掲示。 節水弁の取り付け。 植木・農作物の水遣りには河川水を利用している。 効率的な洗車方法の検討。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	シール、ポスターは掲示している。 節水弁は取り付けしている。 大型車の洗車には大量の水道水が要る。 植木・野菜類の水遣りは河川水を使用している。 次年度も同様の取り組みを継続する。



一般廃棄物排出量													
排出量(kg)	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
2021年	7	7	7	6	7	7	7	7	8	6	6	6	81
2022年	8	6	7	8	7	6	6	7	8	7	6	6	82

一般廃棄物排出量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組み内容
素材別ボックスの設置	○	屋外保管場所の塀に沿って段ボール用4コ、ステンレス用1コ、アルミ用1コを設置している。混合廃棄物で処分していた多くのものが分別されて再生業者に引き渡されている。次年度もこの取組みを継続する。
リサイクル業者の開拓	○	段ボールその他の紙くず、ステンレス、アルミ等を「ジェイライズ Co.」が回収、再生処理をしてくれる。

社会貢献活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組み内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGs17 の目標の中で当社が実施可能な目標への取組</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月に対象品目調査、8月にテックリストを作成した。次年度はSDGs17の目標の内2番目と12番目に関係するテーマに挑戦します。食品ロスを減らすために「買い過ぎない」、「使い切る」、「食べ切る」を心がけます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域が実施する環境活動への積極的参加</li> <li>周辺地域の清掃</li> </ul>	○ ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務所前の水路清掃、同じく道路清掃を実施した。</li> </ul>

□ その他、環境活動の実子状況（教育訓練事例）

◇飲酒運転撲滅（アルコールチェック「義務化」2022年5月12日）

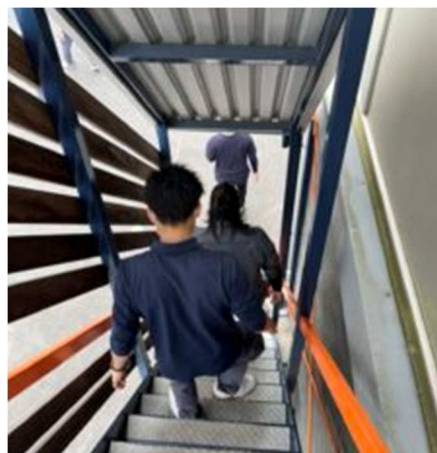


◇横断歩道における歩行者等の優先

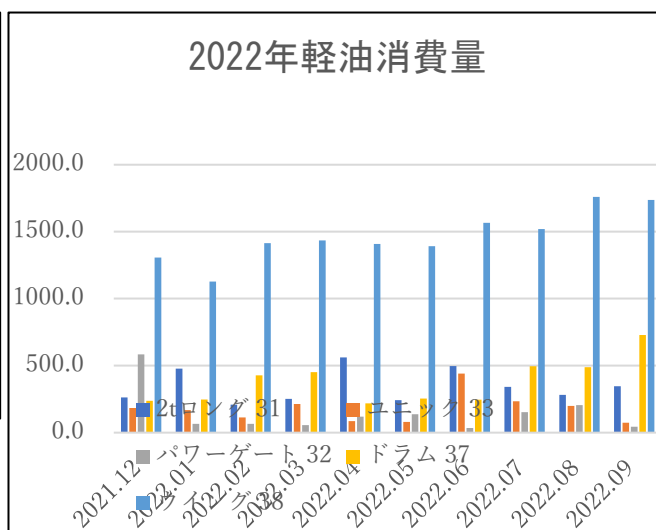
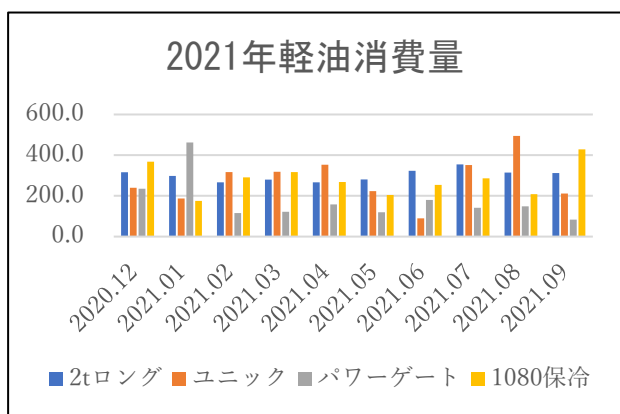




◇地震・火災発生時の避難訓練  
(2022年6月18日)



◇資源エネルギーの節約(状況説明: 2022年11月2日)





◇2023年版「EA 必携マニュアル(全員に配布説明：2022年12月8日)～環境経営方針、実施体制、緊急連絡フロー、SDGs など」



	SDGs	サステナブル・ディベロップメント・ゴール
	持続可能な開発目標	
十七の目標	1	貧困をなくそう
	2	飢餓をゼロに
	3	すべての人に健康と福祉を
	4	質の高い教育をみんなに
	5	ジェンダー平等を実現しよう
	6	安全な水とトイレを世界中に
	7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに
	8	働きがいも経済成長も
	9	産業と技術革新の基盤をつくろう
	10	人や国の不平等をなくそう
	11	住み続けられるまちづくりを
	12	つくる責任つかう責任
	13	気候変動に具体的な対策を
	14	海の豊かさを守ろう
	15	陸の豊かさを守ろう
	16	平和と公正をすべての人に
	17	パートナーシップで目標を達成しよう
<p>当社の第33期事業年度は、最終ミーティングで、最初に取り組む事とした2番と12番(先ず個人レベルで食品ロスを減らす)、そして6番(これはユニセフに協力する形でスタート)にチャレンジして行きます。</p> <p><b>買すぎ：</b>賞味期限と消費期限の違いをよく理解し、買い物に行く前に自宅にある食材を確認する習慣をつける。</p> <p><b>使い切る：</b>これまで捨てていた部位でも何か調理法がないか、レシピサイト等で調べてみる。</p> <p><b>食べきる：</b>料理レシピを活用して、別の料理に作り替える工夫をする。</p> <p>参考サイト：NHKライフは食材を上手に使い切る方法を紹介しているそうです。</p>		



□ 環境関連法規制等の遵守状況の確証及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	収集運搬業、産業廃棄物の処分委託
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	解体工事業者に登録制度を設け、再生資源の有効利用と廃棄物の適正管理を図る
フロン排出抑制法	三か月ごとに第一種特定製品の簡易点検の実施、記録の保管
PCB特措法	PCB廃棄物の適正な、期限内の処分
消防法	届け出を要する危険物の指定
危険物の規制に関する政令	危険物の指定数量
岡山市火災予防規則	指定数量未満の可燃物の取扱い
自動車NOx・PM法	自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の排出量の抑制
計量法	定期検査
道路交通法	交通ルールの遵守
道路運送車両法	自動車の登録、日常点検・定期点検の実施
労働安全衛生法	労働者の安全と健康を確保 安全衛生管理体制の確立

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。



□ 代表者による全体の評価と見直し・指示

このコロナパンデミックで、2021年11月から2022年3月迄エコアクションミーティングの開催を自粛した。4月から施行された改正道交法でアルコールチェックが「義務化」され、当社もシステムを導入して法規制に対応するようにした。また、「横断歩道等における歩行者等の優先」について、道交法第三十八条について学習した。消火器の点検基準の確認、非常事態発生時の避難訓練、SDGsの進捗状況の確認と今後の対応についても協議した。

当社の特別管理産業廃棄物収集運搬業許可で、PCBの収集運搬に「PCBに汚染された廃電気機器に限る。」との限定が入っていた為、橋梁の塗装を剥離した廃塗装にPCBが含まれていても、その処分に当社が参画する事が出来なかった。それで急遽必要な運搬容器や防護具を買い揃え、「産業廃棄物処理の事業範囲変更許可申請」を行い、相当厳しい規制があったものの変更許可を取得し、限定を「低濃度PCB廃棄物に限る」と幅広く変えて頂いた。

軽油・ガソリンの価格が高止まりして収益を圧迫し続けている中でも、前期利益よりも220万円程多い858万円の利益を上げる事が出来た。職員全員の努力と集中力で大きな事故もなく、お客様の不評を買うようなトラブルもなく、第33期事業年度を終えることが出来た。

環境関連法規は遵守評価の結果遵守されていた。新規に導入した大型ウイング車はほとんどフル稼働し、これまで三光(株)のウイング車に頼っていた医療廃棄物の中間処理施設運搬を自社でまかなえるようになり、外注費の節約になったが、鳥取県境港市までの往復に200Lもの軽油を消費するので、軽油消費量は前年比の260%と増大した。

車の洗車に使用する上水道の使用量も2020年には53m<sup>3</sup>だったが2022年には89m<sup>3</sup>と168%に増えている。

燃料の消費量を原単位(売上高)で割った数字を睨みながら、社業の発展を図っていきたい。環境経営方針はこのまま維持する。環境経営理念と環境保全への行動指針は、ともに維持するが、SDGsをテーマとした「おかやま環境フォーラム2023」に参加してみて、「環境保全では駄目だ、保全では地球温暖化を阻止できない。」との、講演者の意見に「いかにも。」と思うところがあり、今後「環境保全への行動指針」は改善するかもしれない。

(株)エコ・クリエイト 代表取締役 坪江 紀幸

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり
(燃料消費量を売上高で除した数値を見て、適切な目標値を策定する。)		
実施体制	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり
(従業員の新規入社があった。)		

以上